

100歳おめでとうございます
令和5年度長寿者

9月18日の敬老の日にちなみ、本年度、新100歳を迎えた人をご紹介します。
※ 新100歳となった15人のうち、8人を掲載しています。



町内最高齢は106歳
いづみとしこ
出海 利子さん
=北黒田=



むかい
向井 キヨカさん
=北黒田=



たにおか あきみ
谷岡 秋美さん
=西古泉=



しげかわ ふみよし
重川 史芳さん
=昌農内=



すずき
鈴木 スガエさん
=筒井=



いけうち きくみ
池内 喜久美さん
=東古泉=



わたなべ
渡部 ラクミさん
=筒井=



ふるた ことえ
古田 事恵さん
=北川原=



はしもと こと
橋本 トシ子さん
=神崎=

交通安全への願いを込めて
交通安全ポスターコンクール入賞作品

▼町長賞



松前中2年
押岡芽衣さん



▼町長賞



松前小5年
石田咲幸さん



▼優秀賞

たにのみやゆうひ 谷野宮優妃さん(岡田中3年)、うえおかあたる 上岡峻大さん(岡田中3年)、もりたことみ 森田心実さん(岡田中2年)、わたなべはな 渡部花菜さん(岡田中1年)、にのみやさく 二宮朔さん(松前小6年)、くぼりいな 久保玲菜さん(松前小5年)、たさかゆい 田阪悠衣さん(松前小4年)、たかおかまさき 高岡真生さん(松前小2年)

川柳をきっかけに健康づくり
まさき健康川柳表彰式

「まさき健康川柳」の表彰式が、10月3日、役場で行われました。
これは、楽しみながら健康づくりをするため、町が健康に関するテーマで川柳を募集したもの。応募総数377点の中から、審査の結果、各賞に次の皆さんの作品が選ばれました。



【審査にご協力いただいた皆さん】
愛媛県川柳連盟
としいんさん
土居新山氏
松前町文化協会会長
やだひろし
矢田弘氏
松前町文化協会俳句部
しらしこうすけ おがさわらかつえ
白石浩輔氏、小笠原克枝氏

▼町長賞

向日葵を
抱きしめにゆく
ウオーキング

なるおかくらじゆ
鳴岡耕樹さん
=東古泉=

▼町民賞

噛める歯を
持てる幸せ
まだ白寿

なかの こ
中野サヨ子さん
=西古泉=

▼脳活賞

血液は
サラリ仕事は
粘っこく

やぎくみこ
八木久美子さん
=鶴吉=

▼おもしろいで賞

健康の
為とホウキを
さしだされ

いっしきみ さこ
一色美佐子さん
=筒井=

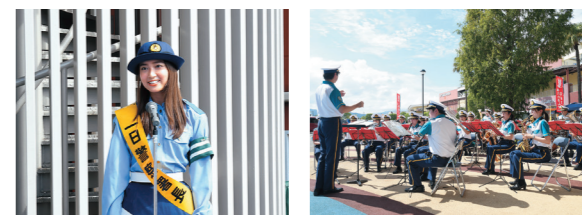
安全なまちづくりに向けて
第12回おたたさんで交通安全屋

「おたたさんで交通安全屋」は9月23日、エミフルMASAKIで行われ、多くの親子連れが訪れました。

開会式では、2023年東レキャンペーンガールの間瀬遥花さんが伊予警察署の一日署長を任命されたほか、愛媛県警察音楽隊による「まさき色の風」の演奏が披露され、訪れた観客を魅了しました。

その後、「おたたさん」が交通安全グッズを配布し、交通安全を呼び掛けていました。

現在、町は、信号機のない横断歩道での手上げ横断を推進するため、「大人も手を上げよう運動」を実施中です。横断歩道を渡る時は、ドライバーに向かって手を上げて手のひらを見せ、横断する意思を伝え、安全に横断しましょう。



㊤一日署長を任命された間瀬さん ㊦愛媛県警察音楽隊による演奏 ㊧交通安全グッズを配布するおたたさん



▲「大人も手を上げよう運動」PRポスター4コマ漫画は伊予市のイラストレーター山内ひろみさんが提供



アツアツの芋炊きで親睦を深める
大間芋炊き会

「大間芋炊き会」は9月30日、教深寺境内で開催され、大間地区の住民約150人が参加しました。新型コロナウイルスの影響で中止されていましたが、4年ぶりに開催された芋炊き会。

参加した人たちは、愛媛県産のサトイモ「伊予美人」、鶏肉や厚揚げなどたくさんの具が入った芋炊きを囲んで、伊予万歳やカラオケなどの余興を楽しみながら親睦を深めていました。



伊予高生が耐震工事を体験
DIY耐震工事体験会

「DIY耐震工事体験会」は9月9日、新立地区にある住宅で開催され、伊予高等学校の生徒3人が参加しました。体験会では、名古屋工業大学川端寛文客員教授と町内の建設業者が、簡単にできる壁の補強工事を指導。生徒たちは、工具を使って、壁に耐震用パネルを取り付けるなどして、古い家屋の耐震化について学んでいました。

町内の昭和56年以前に建てられた木造住宅は無料耐震診断が可能。まちづくり課管轄係(☎985-4136)へご連絡を。

可愛い横断旗で安全に登下校を
岡田小学校「横断旗贈呈式」

「横断旗贈呈式」は9月21日、岡田小学校で行われ、伊予交通安全協会と伊予安全運転管理者協議会から町内の小学校へ横断旗200本が贈呈されました。

子どもたちに横断歩道を安全に渡ってもらいたいとの願いを込めて贈られたこの横断旗には、はんぎりを漕いでいるみぎやんとマッキーが描かれています。6年生の松田恋和さんは、「横断旗を使って、今まで以上に安全に登下校したいです」と決意を新たにしていました。



ドキドキ! 鎌で稲を刈ったよ
青葉幼稚園「稲刈り」

10月4日、青葉幼稚園の年中・年長児約90人は、木下務さん＝徳丸＝の水田で、徳丸農業区の協力の下、「稲刈り」を行いました。

この稲は、6月に園児たちが植えたもの。園児たちは、徳丸農業区から贈呈された新しい鎌を使って、1株ずつ丁寧に稲を刈っていました。

収穫したお米は、今後、給食で提供されるほか、「おにぎり大会」を開催し、地域の人たちと一緒に食べる予定です。



当日の様子を町公式Instagramで公開中! →



さあ、運動を始めよう
まさきエクササイズ教室

「まさきエクササイズ教室」は10月5日、福祉センターで開催され、11人が参加しました。

運動習慣がない働き盛りの世代を対象に、全8回開催されている同教室。5回目の教室に参加した参加者は、理学療法士や健康運動指導士から体幹トレーニングの方法を学んでいました。

トレーニング方法を、町公式YouTube(右のQRコード)で公開中です。あなたも、Let'sエクササイズ!



差別のない社会を目指して
2023 明るい人権の町づくり大会

「2023 明るい人権の町づくり大会」は10月7日、文化センターで行われ、約250人が参加しました。

開会行事では、人権・同和教育の推進のために尽力した前愛媛県人権対策協議会松前支部長の末岡武志さん＝徳丸＝が「松前町人権教育協議会表彰」を受けました。

町内小・中学生による人権啓発ポスターや作文などの作品発表の後は、歌手の木山裕策さんが、「ぼくが生きていくために必要だったもの～今あらためて見つめ直す人とのつながり～」と題して講演。闘病生活を送りながらも諦めず、自分の夢を追い続けた経験から、「諦めないことが大切。自分を信じて、自分の力で人生をキラキラさせましょう」と訴え、参加者の皆さんは、諦めないことの大切さについて考えていました。最後は、「home」など4曲を披露し、会場が感動に包まれていました。



かごしま国体に本町から11人が出場
特別国民体育大会出場選手団壮行会

「特別国民体育大会出場選手団壮行会」が、9月22日、役場で行われました。

選手として本町から出場するのは、6種目11人です。代表して、ホッケー少年女子の坂本みずきさん＝鶴吉＝が、「愛媛県民、松前町民の誇りを持って一戦一戦を大切に、ベストを尽くせるよう頑張ります」と決意を述べました。

選手たちは、10月7日から17日まで(ローイング(ボート競技)は9月21日から24日まで)鹿児島県の各会場で健闘しました。



④講演をする木山さん ⑤表彰を受けた末岡さん ⑥小・中学生による人権作文などの発表